

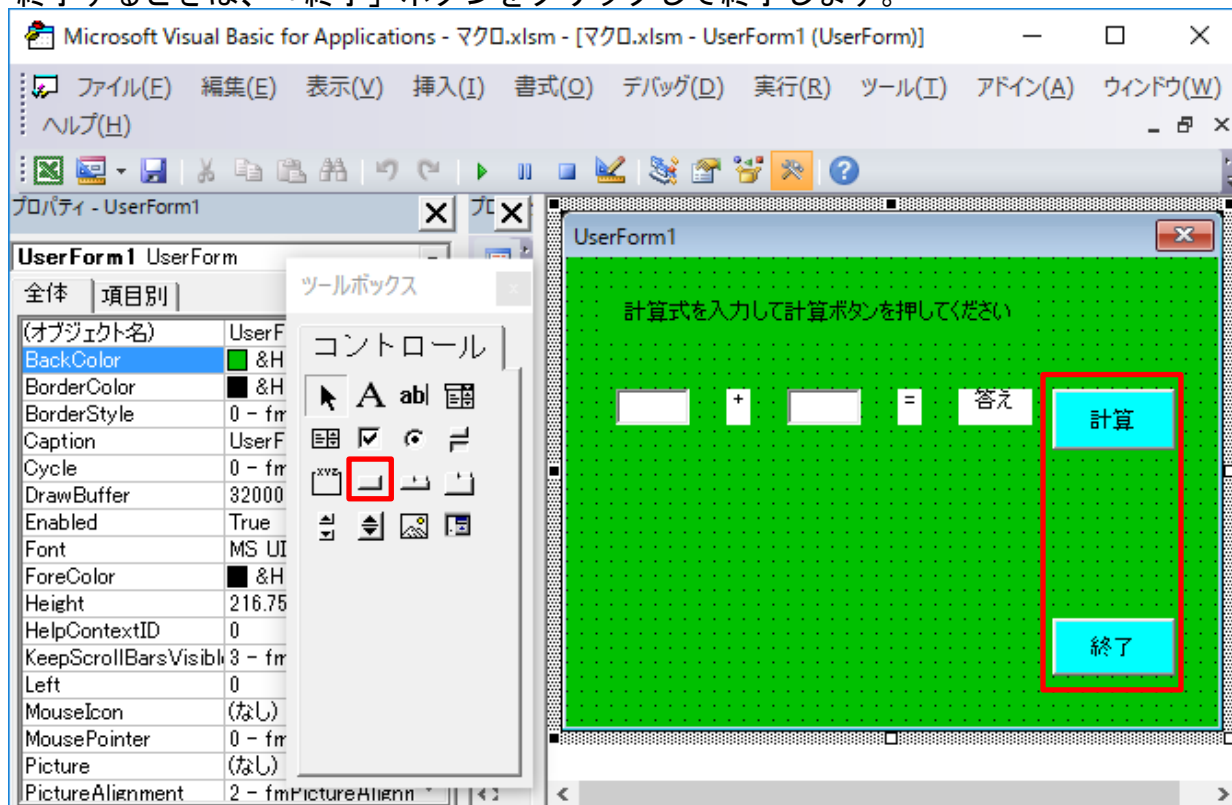
【CommandButtonの配置と操作】

コマンドボタン、プッシュボタン、ボタンなど呼び名は違いますが、同じコントロール（部品）です。

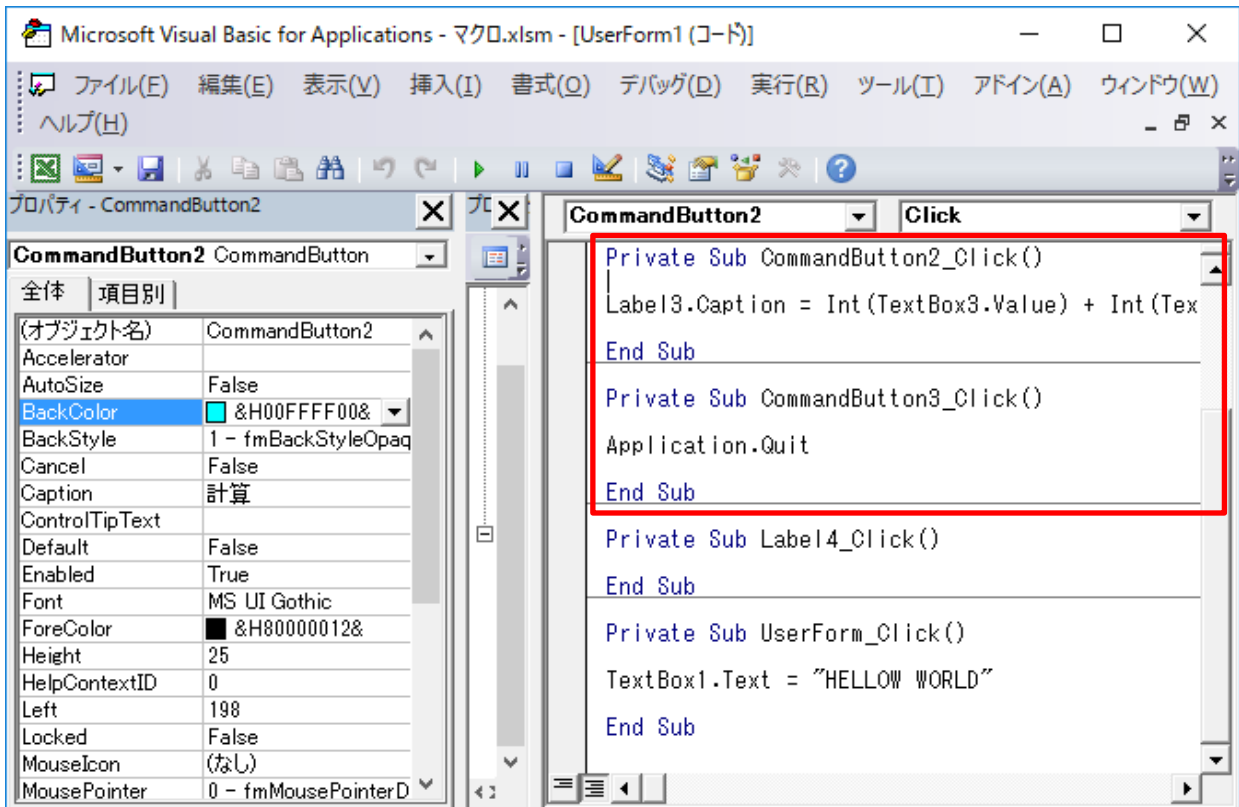
コマンドボタンの配置は、ツールボックスから赤枠のコントロールを選んで配置します。

加算計算を行うフォームから、数字を入力して「計算」ボタンをクリックすると計算結果を表示する処理です。

終了するときには、「終了」ボタンをクリックして終了します。



コマンドボタンのスクリプトは、「計算」と「終了」の2種類です。



「計算」ボタンのスクリプト

```
Private Sub CommandButton2_Click()
```

「計算」ボタンをクリックしたとき、実行されます。

```
Label3.Caption = Int(TextBox3.Value) + Int(TextBox2.Value)
```

計算を実行する命令です。

Label3.Captionには、計算結果が設定されます。

Int(TextBox3.Value)のIntは、TextBox3.Valueの値を整数の数値にする関数です。

```
End Sub
```

スクリプトを終了します。

「終了」ボタンのスクリプト

```
Private Sub CommandButton3_Click()
```

「終了」ボタンをクリックしたとき、実行されます。

```
Application.Quit
```

EXCELを保存せずに終了するメソッドです。

```
End Sub
```

スクリプトを終了します。

コマンドボタンは、クリックしたときに実行されるスクリプトを記述することができます。

コントロールの配置や操作は、種類が違っていても同じ要領で行えます。

スクリプトの記述は、コマンドボタンをクリックしたときがほとんどですから、

他のコントロールは配置するだけのものが多いので、実際に使ってみれば

分かるでしょう。

実行してみます。

UserForm1

計算式を入力して計算ボタンを押してください

+ = 答え

計算式に数値を入力します。

UserForm1

計算式を入力して計算ボタンを押してください

+ = 答え

「計算」ボタンをクリックします。

以下のように、計算結果が表示されます。

UserForm1

計算式を入力して計算ボタンを押してください

+ =